

様式第1

地域産業資源活用事業計画に係る認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇経済産業局長 殿

[留意点] 他省庁所管分野の事業が対象の場合は、当該主務省庁の地方支分部局の長と連名にて申請してください。

[申請書の提出について]

様式第1による申請書を(正)該当地方支分部局の通数、(副)1通をあわせて当該地域産業資源活用事業計画に係る地域産業資源が存在する地域を管轄する都道府県へ提出してください。

住 所 〇〇県〇〇市〇〇区〇1-1
名 称 及 び 株式会社〇〇
代表者の氏名 代表取締役 〇〇 〇 印

[留意点] 共同で申請する場合は、以下のように列記下さい。
(共同申請者)

住 所 〇〇県〇〇市〇〇2-2
名 称 及 び 株式会社△△
代表者の氏名 代表取締役 △△ △ 印

中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律第6条第1項の規定に基づき、別添の計画について認定を受けたいので申請します。

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とし、記名押印については、氏名を自署する場合、押印を省略することができる。
- 2 申請する計画について説明するために必要と思われる書類がある場合は、適宜添付することができる。

(記載要領)

- 1 申請者は以下の要領に従って、地域産業資源活用事業計画の必要事項を記載すること。
 - (1) 地域産業資源を活用した商品の開発、生産若しくは需要の開拓又は役務の開発、提供若しくは需要の開拓を行う計画(開発・生産型)である場合((2)に掲げる場合を除く。)
 - ①地域産業資源活用事業の目標
別表1の該当する欄に記載すること。
 - ②地域産業資源活用事業の内容及び実施期間
別表1の該当する欄に記載すること。実施計画の内容については別表3、売上・資金計画の内容については別表4に記載すること。
 - ③地域産業資源活用事業の実施に協力する者(協力者)がある場合には、協力者の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びにその協力の内容
別表1の該当する欄に記載すること。
 - ④地域産業資源活用事業を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

別表4に記載すること。

(2)他の中小企業者が地域産業資源を活用して開発若しくは生産を行う商品又は開発若しくは提供を行う役務について、需要の開拓のみを行う計画（需要開拓型）である場合

①地域産業資源活用事業の目標

別表2の該当する欄に記載すること。

②地域産業資源活用事業の内容及び実施期間

別表2の該当する欄に記載すること。実施計画の内容については別表3、売上・資金計画の内容については別表4に記載すること。

③協力者の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びにその協力の内容（地域産業資源活用事業の実施に協力する者がある場合に限る。）

別表2の該当する欄に記載すること。

④地域産業資源活用事業を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

別表4に記載すること。

2 申請者名は、共同で地域産業資源活用事業計画を実施する場合には、代表者となる事業者を1者定め、当該事業者の名称及び住所並びにその代表者の氏名を記載し、代表者以外の共同申請者については、申請書の余白に当該事業者の名称及び住所並びにその代表者の氏名列記し、それぞれ代表者印を押印すること。

[留意点]

国は、計算書類等の信頼性の向上及び中小企業の経営力・資金調達力の強化を図る観点から、「中小企業の会計に関する基本要領」又は「中小企業の会計に関する指針」に従った計算書類等の作成及びその活用を推奨しています。

これら基本要領・指針は、多くの中小企業の実務に即した会計制度ですので、自社の経営力の強化や資金調達力の強化のためにご活用下さい。

【添付資料】

- ・施行規則1条第2項に規定する定款、貸借対照表及び損益計算書等を添付してください。（共同申請者がいる場合、共同申請者の定款、貸借対照表及び損益計算書等も添付してください。）
- ・その他、地域産業資源活用事業を説明するにあたり、必要と思われる書類を添付してください。

(別表1)

[留意点]

本表は、認定を受けようとする事業の内容を説明する重要な書類です。第三者に十分理解してもらえよう、専門用語、業界用語は極力避け、経緯や前提条件から起承転結を心がけて、図や表を用いて、できるだけ具体的かつ客観的に説明するよう記述してください。

地域産業資源活用事業計画（開発・生産型）※「需要開拓型」と間違えないようご確認ください。

事業名	
[留意点] 専門用語等は極力避け、顧客の視点から見て事業の内容が分かり易い名称にしてください。また、「世界で初めて」「日本で初めて」など、売りや強みとなるキーワードがあれば盛り込んでください。ただし、説明調で長文化すると却って分かり難くなりますので、最長40文字程度としてください。 [記載例] 地域産業資源である〇〇の特性を活かした新商品開発事業	
申請者（代表者）	
名称：株式会社〇〇 住所：〇〇県〇〇市〇〇区〇1-1 代表者名：代表取締役 〇〇 〇	資本金：〇〇〇〇万円 従業員数：〇〇人 業種：※主たる事業の業種で、日本産業分類に準拠（中分類及び小分類まで記載すること） 連絡先：電話：00-0000-0000 FAX：00-0000-0000 担当者 〇〇 決算月：〇〇月
[留意点] 地域産業資源活用事業計画を共同で実施する場合には、「代表者」となる者を定め、当該欄に必要事項を記載し、「代表者」以外の共同申請者については、下欄（共同申請者の欄）に必要事項を記載してください。共同申請者が複数の場合は、共同申請者欄を繰り返し設けて、必要事項を記載してください。	
共同申請者	
名称：株式会社△△ 住所：〇〇県〇〇市〇〇2-2 代表者名：代表取締役 △△ △	資本金：〇〇〇万円 従業員数：〇〇人 業種：※主たる事業の業種で、日本産業分類に準拠（中分類及び小分類まで記載すること） 連絡先：電話：00-0000-0000 FAX：00-0000-0000 担当者 〇〇 決算月：〇〇月
協力者	
名称：株式会社〇〇〇 住所：〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 代表者名：代表取締役 〇〇 〇〇	資本金：〇〇億円 従業員数：〇〇人 業種：※主たる事業の業種で、日本産業分類に準拠（中分類及び小分類まで記載すること） 連絡先：電話：0000-00-0000 （担当者所属）〇〇〇課 （担当者）〇〇 決算月：〇〇月
[留意点] 当該事業の実施に協力する者（協力者）がある場合、当該欄に必要事項を記載してください。 なお、協力者が一般社団法人、一般財団法人又は特定非営利活動法人である場合は、「資本金」、「従業員数」、「業種」欄には、それぞれ「設立年」、「常勤役員数、常勤職員数、社員数（協力者が一般財団法人である場合には、設立に際して拠出された財産の価額）」、「主な事業の概要」に対応する内容を記載してください。協力者について、中小企業庁より公表する可能性がありますので、その点を協力者にご了承いただいでください。	
地域産業資源活用事業の目標	
[留意点] 計画終了時期までに、どのような商品・役務を開発・生産し、どの程度の需要開拓を行うのかを簡潔に記載してください。	

【記載例】

当社では、これまでに〇〇地域の地域産業資源である〇〇の特徴である□□を活かして、××することで、◇◇を主たる顧客とした△△を開発、生産している。

本事業では、これまでの取組を踏まえて、今後5年間にわたり、主として◇◇や▽▽することで、主要顧客として想定している★★の更なるニーズの把握に努め、▲▲等を通じた製品の改善、販売チャネルの見直し、拡大及びアフターサービスの提供などを通じて、顧客満足度を高めることで、当社の収益に貢献する事業の柱にすることを旨とする。

具体的には、本計画終了時である5年後の当社売上を〇〇億円（前期実績〇〇億円）と見込む中で、本事業により少なくとも〇千万円以上の売上を上げるとともに、現在の売上高営業利益率〇％を□％に高めることを目標とする。

地域産業資源活用事業の内容及び実施期間

(1) 計画実施期間

【留意点】

計画の実施の始期と終期を記載してください。また、計画期間は3年以上5年以内の期間としてください。始期の起算点は同法による認定時からとなりますので、認定予定時期から少なくとも満3年を経過する期間で設定してください。

なお、別表4の売上・資金計画に基づき、認定後の進捗状況のフォローアップを行います。その際には、年次毎の売上等の計画値と実績値の相違を確認させていただきますので、年次毎の実績値等を報告いただくこととなります。このため、貴法人の決算期を踏まえて計画実施期間を設定されることをお勧めします。

【記載例】

平成27年11月1日～平成32年10月31日

(2) 開発・生産（提供）・需要の開拓を行おうとする商品・役務の内容

【留意点】

地域産業資源を活用して開発・生産（提供）・需要の開拓を行う商品・役務の概要を記載してください。また、当該商品・役務に係る市場ニーズ・市場規模、競合する類似商品・役務との相違点等を併せて記載してください。

①商品又は役務の概要

【留意点】

地域産業資源の特徴を活用して、どのような商品・役務を開発、生産（提供）、需要開拓するのか、概要を記載してください。その場合、そうした商品等を開発するに至った着眼点（可能な限り経済社会的なトレンドという視点からも記述することが望ましい）についてこれまでの取組状況を踏まえて記述してください。

また、当該地域産業資源を活用することにより、商品・役務のブランド力をどう高めるのかを記載してください。具体的には、本事業による商品・役務が、従来の当該地域産業資源を活用した商品・役務との改良点を分かり易く説明するとともに、ブランド力向上の取組、地域への波及効果についても記載してください。

なお、地域産業資源の特徴については、以下のいずれかの観点から記述してください。

- ・当該商品の品質、機能又は効用等を実現するために不可欠な原材料又は部品として用いられる地域産業資源の特徴（本事業が、地域産業資源である農林水産物又は鉱工業品を利用して行う商品の開発、生産、需要の開拓の場合）

- ・当該地域産業資源の機能、性能等を実感させること等を実現するために用いられる生産活動の特徴（本事業が、地域産業資源である農林水産物又は鉱工業品に係る生産活動を利用して行われる役務の開発、提供又は需要の開拓の場合）

- ・当該商品の品質、機能又は効用等を実現するために不可欠なものとして用いられる技術の特徴（本事業が、地域産業資源である鉱工業品の生産技術を利用して行う商品開発、生産、需要の開拓の場合）

- ・当該商品・役務の品質、機能又は効用等を実現するために不可欠なものとして用いられる観光資源の特徴（本事業が、地域産業資源である観光資源の特徴を利用して行う商品の開発、生産、需要の開

拓又は役務の開発、提供、需要の開拓の場合)

組合として事業計画の認定申請をしている場合で、地域団体商標の商標登録等に係る料金の軽減措置の適用を希望する場合には、地域産業資源活用事業計画において地域団体商標の商標登録出願を予定している旨（又は地域団体商標の商標登録出願をしている旨、地域団体商標の商標登録を受けている旨）を記載してください。また、軽減措置を希望する地域団体商標の候補が複数ある場合（地域団体商標が特定できていない場合）は、候補である地域団体商標を複数記載してください。なお、軽減措置を希望する地域団体商標と当該事業計画との関連性が不明確である場合には、軽減措置の適用を受けることができませんので、御注意ください。

地域資源法に基づく地域団体商標の手数料等の軽減措置に関する概要及び申請方法については、特許庁HPを御参照ください。

http://www.jpo.go.jp/torikumi/t_torikumi/keigen_chushou_chiiki.htm

地域団体商標は、「地域の名称」及び「商品又は役務の普通名称」等を普通に用いられる方法で表示する文字のみからなる商標です（地域団体商標に関する情報は、特許庁のホームページを御参照ください）。

http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/torikumi/t_torikumi/t_dantai_syouhyou.htm

【記載例】

ア) 活用する地域産業資源とその特徴

- 主たる地域産業資源 ○○漆器：○○市、○○町
 - その他の地域産業資源 ○○焼の生産に係る技術：○○市、○○町
- <特徴>○○漆器は▲▲という特徴を有する。

イ) 産地（地域）の概要・課題等

当地域は、○○に関して、100数十年に及ぶ歴史を有し、国の伝統的工芸品産地の指定やこれまで5名の人間国宝を輩出するとともに、昨年度の全国生産額の約3割を占めるなど我が国屈指の○○産地である。最近の○○産地の状況としては・・・という状況にあり、・・・という課題がある。（客観的に分かるように、数値や数表・図表があれば、引用してください。）

ウ) 課題から本事業に取り組む経緯

この中で、当社は、××年の会社設立以来、当地域で主として☆☆関連企業からの仕様にに基づき△△を製造してきたが、前述の産地の各企業と同様、中国等からの輸入品との競合により取引価格の低下傾向が続いており厳しい経営下にあることから、付加価値のとれる自社ブランド製品の開発・販売を悲願としてきた。

こうした中、5年程前に大手量販店の取引先企業から▲▲向けに◎◎ができないかとの依頼があった。早速、社内で検討した結果、地域産業資源○○である□□という特徴を生かして、類似する従来製品にない◆◆と■ ■という機能を付加した製品の開発に着手し、2年前に試作品の開発に成功し、大手量販店の取引先企業を通じた試売をしてきた。

エ) 本事業で取組内容（地域資源の特徴を不可欠な要素として用いる方法を含めて記載）

本事業では、これまでの取組を踏まえて、▲▲向けに、(表2)に示すように、従来の地域産業資源☆☆を活用した商品の□▽という点を改良し、地域産業資源☆☆の特徴である□□や▽▽という性質を◆◆するために必要不可欠な要素として利用して、◎◎を製造販売するもので、複数の大手流通企業やインターネットを活用した通信販売チャネルを開拓し、全国に市場を拡大することを目指す。具体的には・・・また、ブランド力を高めるため、顧客に対する製品のアフターサービスシステムの構築にも取り組む。

(表2) 地域産業資源「☆☆」を活用した商品・役務の改良点

	本製品	従来の製品
品質	繊細な表面仕上げ	表面仕上げは重視しない
機能	保温性大、吸湿性大	耐久性大
効用	一般家庭用	業務用

本事業において開発、販売する商品・役務の需要を開拓するために、当該商品に係る地域団体商標に係る商標権の取得に取り組むこととする。具体的には、本事業において開発、販売する商品に使用する商標を、本事業計画における地域産業資源〇〇の産地（地域）名「□□」及び本事業計画に記載する地域産業資源を用いた商品名「◎◎」からなる『□□□』とし、当該商標について、地域団体商標の商標登録を受けることを予定している。

オ) 本事業により期待される地域への波及効果

本事業により、◎◎商品の□□という地域産業資源☆☆の認知度が高まり、地域の他の中小企業社△△社や□□農家への波及効果が期待される。

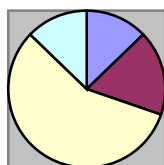
②市場ニーズ・市場規模

[留意点]

どのような市場ニーズを踏まえ、どのような顧客層に対して、当該商品・役務を開発・生産（提供）・需要開拓しようとしているのか、また、市場の規模はどれくらいなのか記述してください。その場合、ニーズの背景となる社会経済的なトレンドや要請を踏まえて記述することが望めます。また、各種統計調査やアンケート調査等による数表、図表を添付して、定量的に示してください。

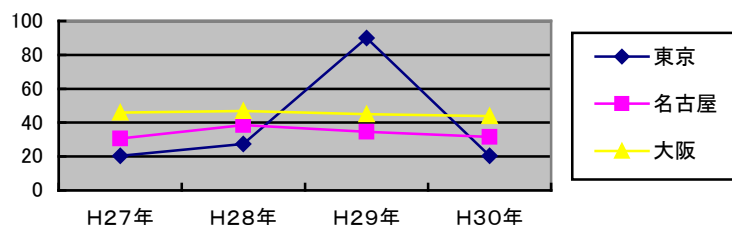
[記載例]

本事業で製造・販売する◎◎の市場ニーズは、従来の類似製品に求められる××という機能だけでなく、▽▽及び環境配慮という観点からの訴求力も有している。このため、商品等の購買におけるL O H A Sなどの健康や環境への配慮する層が、急速に増加しており、〇〇市場の増加を上回るペースで市場を確保することが見込まれる。(図1)・・・また、自社で調査を行った結果、〇〇がもし商品化されれば購入したいという声が、××人中×△人という結果が得られたため、開発する新商品のニーズはあると見込まれる。



(図1) 〇〇の購買時における考慮事項（平成〇〇年〇月「〇〇研究所」調べ）

本製品の属する〇〇市場の規模は、平成〇〇年工業統計調査によると〇〇億円あるが、〇〇市場の需要は、××白書や〇〇研究所の調査においても、〇〇や▽▽などを背景として、◆□という層を中心にして、需要が伸びるとしており、・・・その市場は、〇年後に◇◇億円へと拡大するものと推計されている。(図2)



(図2) 〇〇市場の需要動向（平成〇〇年〇月「××白書」）

③競合する類似商品・役務との相違点等

[留意点]

業界紙やインターネット等を活用し、競合製品としてどのようなものが考えられ、それと比べてどのように優れているのかについて、その分野等に応じて、できるだけ定量的な指標を用いて、具体的かつ明瞭に記載してください。なお、比較事項としては、機能（一次的な性能だけでなく耐久性、味、デザイン、安全性等の観点を含む）、生産コスト、生産・提供方式、納期、アフターサービス、法的諸

規制への対応等、可能な限り多面的に比較検討してください。また、評価方法については、第三者機関による科学的・統計的データが望ましいです。

〔記載例〕

本製品の販売対象とする市場には、××年の□□統計によると、全国に〇〇社が参入しているが、本事業は、当地域の地域産業資源である◎◎の特徴である◇◇を活かして△△という機能を付加させた。当該市場に参入している企業のうちこの機能に近い機能を有している企業は、□□社に絞られてくる。このうちの代表的な企業の製品と表1に示すように同市場への訴求項目に関して、比較検討すると、機能Aでは、・・・、機能Bでは・・・となっている。また、生産コストやアフターサービスについても・・・であり、これらの結果を総合すると本事業の製品◎◎は、他の競合品、類似品と比べても競争力があり、一定の市場を確保することが期待できる。

(表1) 本事業の製品〇〇と競合品等との比較検討表

	機能A	機能B	満足度	生産コスト	アフターサービス
当社製品	○m/h	カリ	%	円/グラム	???
他社A製品	△m/h	カリ	%	円/グラム	???
他社B製品	▽m/h	カリ	%	円/グラム	???
他社類似C製品	□m/h	カリ	%	円/グラム	???

〔出典〕機能A、Bについては、〇〇研究所依頼試験の結果

満足度について、(株)△△調査に依頼し、無作為抽出で全国5千人を対象に調査

● サンプル調査結果

当該商品については・・・(株)〇〇の顧客20名(20代後半～40代の〇〇愛好家)に対して、試作品の聞き取り調査を行っている。結果、「▲▲だ」19名、「〇〇であり安心できる」17名、「価格は妥当である」14名、「販売されれば買いたい」15名という高い評価を受けている。◎◎が強い点についても、「子供も喜んでいた」とされており問題はない。

ただし、色については、「やや黒く華やかさに欠ける」とい意見が4名から出たため、開発段階において色を改善することが課題である。

(3) 活用する地域産業資源

〔記載例〕

地域産業資源の名称と地域及び活用方法については、前述(2)のエ)のとおり

〔留意点〕

都道府県が定め、公表した地域産業資源の内容を参照して、本事業において活用する地域産業資源の名称をその地域(都道府県及び市町村)名と併せて記載してください。その際、二以上の地域産業資源を活用する場合には、主たる地域産業資源の名称をその地域(都道府県及び市町村)名を記載した上で、本事業における位置づけが高い順に全ての地域産業資源を記載してください。また、地域産業資源をどのように活用するのか、その内容を具体的に明記してください。

(4) 実施内容

〔留意点〕

当該商品・役務についてどのような方法・スケジュールで開発、生産(提供)、需要の開拓を行うのか、その取組の概要及び新たな需要開拓の見通しについて記載してください。記載に当たっては、当該商品・役務の生産又は提供を行う地域(都道府県及び市町村)名を記載してください。なお、実施計画の具体的な内容については、(別表3)に記載してください。共同で地域産業資源活用事業を実施する場合は、各事業者の実施する事業内容が明確になるよう記載してください。

① 実施計画の概要

〔留意点〕

当該商品・役務についてどのような方法・スケジュールで開発、生産(提供)、需要の開拓を行うのか、その取組の概要及び新たな需要開拓の見通しについて記載してください。なお、実施計画の具体的な内容については、(別表3)に記載してください。

〔記載例〕

本事業では、(2)エ)に示すように、従来の地域産業資源☆☆を活用した商品の□▽という点を改良した◎◎を製造し、○○市場を対象とし需要開拓を行い、計画終了時の平成○○年○○月時点で◎◎を当社の収益の柱の一つとすることを旨とする。

需要開拓戦略としては、本事業の特性である◇◇であることを最大限活かすため、新たに◎◎を主たるターゲットとして、需要開拓手法としては△△を重点に進めることとする。具体的な工程は別表3のとおりとする。

②商品の生産又は役務の提供を行う地域

[留意点]

商品の生産又は役務の提供を行う地域（都道府県及び市町村）を記載してください。なお、制度の趣旨からして、主たる事業の実施場所として前述の「(3) 活用する地域産業資源①地域産業資源の名称と地域」の事項で示された地域以外の地域を記述すると本制度の対象とはなりませんので、御注意ください。

[記載例]

○○県○○市及び○○町

(5) 需要の開拓の見通し

[留意点]

開発・生産（提供）を行う商品・役務の需要の開拓を進めていく方針・戦略を記載してください。なお、詳細な売上計画については、(別表4)に記載してください。

[記載例]

本事業は、前述（4）で示したような方法で需要開拓を行い、計画終了時には○○万円の売上と営業利益◇◇万円を達成する。なお、詳細な売上計画については別表4に記載する。

(6) 協力者の協力の内容

[留意点]

上記（5）の取組を進める中で、貴法人と協力者との役割分担を具体的に記載してください。また、協力により得られると見込まれる効果についても記載してください。

なお、「協力者」とは、商品・役務の単なる取引先ではなく、当該事業に直接関与する当事者であり、事業計画の実現に必要な助言等の協力を行う者を指します。自治体、商工会・商工会議所による支援を受けている場合、その内容を（7）に記載ください。

[記載例]

- ・本事業の実施において、○○市場に知見をもつ株式会社☆☆が協力者として参画する。株式会社☆☆が把握するネットワークを活かし、◎◎を主たるターゲットとした販路開拓や販売方法に関する助言、また、知見を活かした当該商品の改良点等も助言いただく。具体的には、○○地域の売り場10箇所で・・・。
- ・本事業の実施において、○○を研究（研修）している○○高校が協力者として参画する。当該事業の開発・生産、改良には○○高校が培ってきた知見や企業的発想にはない独創的なアイデアで助言等をいただく。具体的には、月1回定例の商品開発、改良会議を行い・・・。

(7) 地域における関係事業者・関係団体との連携の内容等

[留意点]

地域経済の活性化に寄与する観点から、活用する地域産業資源に係る地域において、関係事業者・関係団体との連携や地域の支援機関等による支援の内容等について記載してください。外国関係法人等と共同で行う地域産業資源活用事業の場合は、当該外国関係法人等を関係事業者等として記載するとともに、当該外国関係法人等の株主及び役員等の一覧が分かる資料を提出してください。

[記載例]

- ・地域産業資源☆☆の安定供給の観点から、地域の材料供給者□□との連携体制を構築するほか、生産力の強化のため、地域の同業者△△へ生産委託を行う。
- ・製品の安全性・品質の確保の観点で、○○大学や○○試験所において、耐久性や品質管理についての定期的に調査・分析をお願いしている。
- ・活動拠点となる○○市や××商工会からは補助金や展示会への出展等で本事業に関して事業化支

援を受けている。

(注)

- 1 「事業名」には、事業の内容が分かりやすい名称を記載する。
- 2 「申請者」には、共同で地域産業資源活用事業を実施する場合には、代表者となる事業者を1者定め、当該事業者の名称及び住所、その代表者の氏名等について記載する。
- 3 「共同申請者」には、共同で地域産業資源活用事業を実施する場合に、代表者以外の共同申請者の名称及び住所、その代表者の氏名等について記載する。
なお、共同申請者が複数ある場合は、記載欄を繰り返し設けて記載する。
- 4 「協力者」には、地域産業資源活用事業の実施に協力する者（協力者）がある場合に、当該協力者の名称及び住所、その代表者の氏名等について記載する。
なお、協力者が一般社団法人、一般財団法人又は特定非営利活動法人である場合は、「資本金」、「従業員数」、「業種」欄には、それぞれ「設立年」、「常勤役員数、常勤職員数、社員数（協力者が一般財団法人である場合には、設立に際して抛出された財産の価額）」、「主な事業の概要」に対応する内容を記載する。
- 5 「地域産業資源活用事業の目標」には、計画終了時期までに、どのような商品・役務を開発・生産し、どの程度の需要の開拓を行うのかを簡潔に記載する。
- 6 「地域産業資源活用事業の内容及び実施期間」には、次の項目について記載する。
 - (1) 計画実施期間
計画の実施の始期と終期を記載する。
 - (2) 開発・生産（提供）・需要の開拓を行おうとする商品・役務の内容
地域産業資源を活用して開発・生産（提供）・需要の開拓を行う商品・役務の概要を記載する。
当該商品・役務に係る市場ニーズ・市場規模、競合する類似商品・役務との相違点等を併せて記載する。
 - (3) 活用する地域産業資源
 - ①都道府県が定め、公表した地域産業資源の内容を参照して、本事業において活用する地域産業資源の名称をその地域（都道府県及び市町村）名と併せて記載する。
 - ②二以上の地域産業資源を活用する場合には、全ての地域産業資源について記載した上で、主たる地域産業資源の名称をその地域（都道府県及び市町村）名と併せて記載する。
 - ③地域産業資源をどのように活用するのか、その内容を具体的に記載する。
 - (4) 実施内容
商品・役務についてどのような方法・スケジュールで開発、生産（提供）、需要の開拓を行うのか、その取組の概要及び新たな需要開拓の見通しについて記載する。記載に当たっては、当該商品・役務の生産又は提供を行う地域（都道府県及び市町村）名を記載する。なお、実施計画の具体的な内容については、（別表3）に記載する。
共同で地域産業資源活用事業を実施する場合は、各事業者の実施する事業内容が明確になるよう記載する。
 - (5) 需要の開拓の見通し
開発・生産（提供）を行う商品・役務の需要の開拓を進めていく方針・戦略を記載する。
なお、詳細な売上計画については、（別表4）に記載する。
 - (6) 協力者の協力の内容
協力者がある場合に、その協力の内容を記載する。
 - (7) 地域における関係事業者・関係団体との連携の内容等

【開発生産型】

地域経済の活性化に寄与する観点から、活用する地域産業資源に係る地域において、関係事業者・関係団体と連携して事業を行う場合に、その内容等を記載する。

(別表3)

[記載例]

実施計画の内容

番号	計 画 (○期目/平成○年○月～平成○年○月)	
	実 施 項 目	実施時期
1	地域産業資源を活用した製品の試作品を生産する。	1-1~1-2/月 1回 1週間開催 (平成○年○月～平成○年○月)
1-1	有識者や、様々な関係者、協力者から意見を集め、製品の改良を行う。	1-1~1-2/期間中 4回実施 (平成○年○月～平成○年○月)
1-1-1	専門のプロジェクトチームを結成し、集中的に製品の改善点を検討する。	1-1~1-2/月 1回開催 (平成○年○月～平成○年○月)
1-1-2	検討した結果を踏まえ、試作品を生産する。	1-1~1-2/月 1回実施 (平成○年○月～平成○年○月)
1-1-3	生産された試作品の性能を評価するとともに、市場ニーズがあるのか協力者等を通じて調査する。	1-1~1-2/期間中 1回開催 (平成○年○月～平成○年○月)
1-2	生産工程の改善を行い、製品のコストカットを検討する。	1-1~1-2/期間中 30回開催 (平成○年○月～平成○年○月)
2	販路開拓	1-1~1-2/月 1回実施 (平成○年○月～平成○年○月)
	・・・	1-1~1-2/月 2回開催 (平成○年○月～平成○年○月)
3	広告、宣伝	1-1~1-2/月 2回開催 (平成○年○月～平成○年○月)
	

(注)

- 「番号」には、「1」、「1-2」、「1-1-2」、「2」、「2-2」のように、実施項目を関連付けて記載する。
- 「実施項目」には、具体的な実施内容を記載する。
- 「実施時期」には、実施項目を開始する時期を四半期単位で記載する。1年目の最初の四半期に開始する項目には「1-1」、3年目の第4四半期に開始する項目には「3-4」のように記載する。

[留意点]

認定後の支援は同計画書に記載のあることのみを対象とすることを考慮し、なるべく具体的に記載してください。

(別表4)

地域産業資源活用事業に係る商品・役務の売上・資金計画

(単位 千円)

		1年後 (○年○月期)	2年後 (○年○月期)	3年後 (○年○月期)	4年後 (○年○月期)	5年後 (○年○月期)
申請者 (株○○○○)	売上計画					
	①売上高	100,000	150,000	150,000	180,000	200,000
	資金計画					
	②設備投資額	48,000	0	0	0	0
	③運転資金増加額	10,000	0	0	0	0
	④資金調達額合計(②+③)	58,000	4,500	4,500	4,500	4,500
	補助金・委託費等	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)
	金融機関借入	50,000	0	0	0	0
	うち、政府系金融機関	20,000	0	0	0	0
	自己資金	8,000	4,500	4,500	4,500	4,500
その他	0	0	0	0	0	

(注)

- 1 計画期間に合わせて記入する。
- 2 「①売上高」には、地域産業資源活用事業に係る商品・役務(最終製品)の売上計画を記載する。共同で地域産業資源活用事業を実施する場合で、当該事業に係る商品・役務が複数ある場合には、それらの合計額を記載する。
- 3 「申請者」には、申請者の名称を記載する。共同で地域産業資源活用事業を実施する場合は、「申請者」「②設備投資額」「③運転資金増加額」「④資金調達額合計(②+③)」に対応する欄を繰り返し設け、申請者ごとに記載する。

[留意点]

- ・資金計画のうち補助金については、()書きとし、資金調達合計には含めないでください。
- ・(別表1)を補足するため、必要に応じて「売上計画」欄を「売上収支計画」とすることや、企業全体と事業に係る商品等の売上収支計画を列記してください。
- ・別表4の売上高の算出根拠及び営業利益を下表に記載してください。

(別表4の売上の積算根拠)

		1年後 (○年○月期)	2年後 (○年○月期)	3年後 (○年○月期)	4年後 (○年○月期)	5年後 (○年○月期)	
売上 明細	◎◎商品	国内販売	50,000	60,000	60,000	70,000	80,000
		海外販売	0	30,000	30,000	30,000	30,000
	▲▲商品	国内販売	50,000	60,000	60,000	70,000	80,000
		海外販売	0	0	0	10,000	10,000
	合計		100,000	150,000	150,000	180,000	200,000
営業利益		1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	